



プロジェクト名称 【参加人数：6名】

石垣島を元気にするプロジェクト

活動概要・目的 【活動期間：2012年6月1日～2013年3月15日】

私たち「石垣島を元気にするプロジェクト」は設立から今年で10年目になる、サンゴ礁保全を目的とした団体である。日本で最も多くのサンゴを有している石垣島と大学のある埼玉をフィールドに活動し、昨年まではサンゴ礁に悪影響を与える赤土流出を抑制するために地産地消マップというものを配布してきた。しかし、地産地消マップのシステムがサンゴ礁保全の成果として出にくかったため、今年度は島民のサンゴ礁保全の意識啓発を目的に活動を行ってきた。サンゴ礁保全の意識啓発のために私たちはまず石垣島サンゴウィークで「サンゴ不思議発見！」というイベントを開催した。このイベントはロゲイニングというスポーツを基にした「サンゴSHOW」と、サンゴ染めを作る「サンゴアート」の二部構成となっており、これらを通じて参加者に石垣島のサンゴ礁の恩恵と現状を知ってもらうことを目標にしていた。またイベントには石垣市観光協会と八重山商工高等学校観光コースの方々が協力してくださり、将来的には島民の方々が自発的にサンゴ礁保全のイベントを開催してくれるようになるのも目標の一つである。サンゴ礁保全の意識啓発のもう一つの活動として、地産地消マップの問題点を改善した新マップも現在作成中である。イベント開催と新マップ作成以外にも、全国大学生環境活動コンテストに参加したり、自分たちの活動を発信するためにTV等のメディア出演も積極的に行ってきた。



「サンゴ不思議発見！」



「新マップ」

年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
6月	オリエンテーリング	東松山	イベント実施に関してイメージを共有
	早稲田アトム通貨交流会	高田馬場	プロジェクトの連携についての交流会
7月	SD研究会	大宮 キャンパス	イベントに関する途中経過等の中間報告
8月	葉山合宿	葉山セミナー ハウス	プロジェクト間での意識・今後の方針に関してメンバー全員で時間をかけじっくりと話し合う
	オープンキャンパスにて 出展	豊洲 キャンパス	来場者に本プロジェクトの活動を紹介を行う



年間活動実績

日程	活動概要	活動場所	活動内容
	早稲田アトム通貨交流会	高田馬場	プロジェクトの連携についての交流会
9月	石垣島現地活動	石垣島	イベント開催に向け、関係者との打ち合わせや開催場所の下調べ
11月	ISOシンポジウム	大宮 キャンパス	私たちの活動を学内発信
	石垣島現地活動	石垣島	地元の八重山商工の高校生とイベントのプレイベントを行う
	サンゴ礁学会	東京大学	普段聞けない研究者からの視点の意見・情報を知る
	環境ビジネスウィメンズTVに出演	梅島	映像を通じ、私たちの活動や石垣島のことを発信
12月	SD研究会	大宮 キャンパス	活動の中間報告
	第10回全国大学生環境活動コンテスト	代々木オリンピックセンター	一年の成果を外部に発信 他大学との交流
1月	一般財団法人学生サポートセンター助成金授賞式	青山オーバルビル	助成金授与・本プロジェクト紹介
	BULLETIN取材	大宮校舎	本プロジェクト紹介
2月	ポストインターネットワークス株式会社取材	大宮校舎	本プロジェクト紹介
3月	石垣島現地活動	石垣島	イベント開催に向け関係者との打ち合わせ、準備
	イベント開催	伊原間	第1部 サンゴSHOW・第2部 サンゴアートを実施
	サンゴカフェに参加	白保サンゴ村	島民に対して私たちの活動を発信
	ビーチクリーンに参加	大浜	清掃・参加者との交流
	サンゴウィークに参加	川平湾	イベント広報活動



プロジェクトの成果・結果・達成度・関係者からの評価

【大宮祭出展】

石垣島産のパインでパイン串の販売を行い、165食完売し、売上金17,250円の20%の3,450円を美ら海美ら山基金に寄付し、同時にプロジェクトの存在を周知させることもできた。

【環境ビジネスウィメン. TV出演】

一般社団法人環境ビジネスウィメンさんがUstreamで配信している番組「環境ビジネスウィメン. TV」に出演し私たちの活動やサンゴについてなど伝えることができた。

【全国大学生環境活動コンテスト2012参加】

一昨年、昨年に引き続き、3年連続の入賞を果たす。大きな舞台での発表を経験して、メンバーの度胸、プレゼン能力の向上、プロジェクトの成長につながった。

【サンゴウィークでのイベント開催: サンゴ不思議発見!】

参加者は大人4名、小学生以下の子ども4名の計8名であり、参加者のほとんどがサンゴ礁に興味を持ち、島民の意識啓発であるイベントの目的を達成したと言える。イベントに協力していただいた沖縄県立八重山商工高等学校観光コースの先生、石垣市観光協会から来年度も引き続きサンゴウィークでのイベントを開催しないかとの提案を受けた。

受賞・メディア取材(新聞、広報誌、TV等)

全国大学生生活動環境コンテスト入賞・学生プロジェクト報告会優秀賞受賞・日刊建設工業新聞掲載
ポストインターネットワークス掲載・BULLETIN掲載・月刊やいま掲載・環境ビジネスウィメンTV出演
ソニーマーケティング学生ボランティアファンド事務局、一般財団法人学生サポートセンター助成金

プロジェクト活動を振り返って(チームとして成長したこと、感動や印象に残っていること、反省、今後の展望について)

①チームとして成長したところ

・1つのイベントを0から完結まで進めることができたことがプロジェクトとして一番の成果であったと思う。今回の「サンゴ不思議発見!」は第一回ということもあり、企画や広報など分からないことが多々あったが、どうにか無事に開催することができた。この「過去に一度開催している」ことが来年度につながる大きな成長であろう。また、イベントを開催という明確な目標があったため、それに向けてメンバー同士の仲間意識が強くなった。発生した数々の障害も、メンバーでうまく分担し、助け合いながら話をすすめてイベントの目的を達成することができた。

・サンゴ礁学会へ出席したことである。以前より本プロジェクトで問題であったのは活動は熱心に取り組むが、サンゴの知識が少ないという点であったが自分たちの活動の延長にあたる研究者の発表を聞き、サンゴの生態や現状などをより認識することで刺激を受けた。また、その会場で購入したサンゴの資料本を使用し、サンゴの勉強を始められたのはいいきっかけである。

②今後の展望

来年度は第一回目「サンゴ不思議発見!」を深く反省し、洗い出した問題点や回収したアンケートのデータをもとに、第二回イベントを企画していく。この「新イベント」と、以前配布した地産地消マップの改良版である「新地産地消マップ」の作成を並行して行っていく。目的はどちらも意識啓発である。それによって、島民主体のサンゴ礁保全に繋がっていくようなイベントや新マップの作成を進めていく。

プロジェクト活動写真



「全国大学生環境活動コンテスト」



「環境ビジネスウィメンTV」



「学生サポートセンター助成表彰式」



「石垣島新空港で広報活動」



「サンゴ不思議発見！」



「サンゴアート」